

長崎短期大学 GPA制度運用に関する内規

(目的)

第1条 この内規は、長崎短期大学（以下「本学」という。）において学生個人の学修到達度を評価するために導入する Grade Point Average（以下「GPA」という。）制度の運用に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(趣旨)

第2条 GPA制度は、学生の自己学習力及び勉学意欲を高めるとともに、本学の教育の質保証に向けた必要な方策を具体化し、学生に対する適切な学修支援に資することを目的に導入する。

(評点)

第3条 GPA制度における成績ポイントは、本学学則第25条に規定する成績評価をもとに次のとおりとする。

区分	評価	成績評価		成績ポイント
合格	秀	100～90点	基本的な到達目標を十分に達成し、極めて優秀な成績を修めている	4
	優	89点～80点	基本的な到達目標を十分に達成している	3
	良	79点～70点	基本的な到達目標を概ね達成している	2
	可	69点～60点	基本的な到達目標を最低限度達成している	1
不合格	不可	59点以下	基本的な到達目標を達成しないので、再履修が必要である	0

(対象授業科目)

第4条 本制度の対象とする授業科目は、本学学則第22条に規定する科目とする。

(GPAの種類及び算出方法)

第5条 本大学で使用する GPA は、当該学期又はセメスターにおける学修の状況及び成果を示す GPA（以下「学期 GPA」という。）及び全在学期間中の学修の状況及び成果を示す GPA（以下「累積 GPA」という。）の2種類とする。

2 学期 GPA 及び累積 GPA は次の各号により算出するものとし、算出した数値の小数点第3位以下は切り捨てるものとする。

(1) 学期 GPA の計算式

$$\text{学期 GPA} = \{ (\text{当該学期の評価“秀”の単位数合計} \times 4) + (\text{当該学期の評価“優”の単位数合計} \times 3) + (\text{当該学期の評価“良”の単位数合計} \times 2) + (\text{当該学期の評価“可”の単位数合計} \times 1) \} / \text{当該学期の総修得単位数}$$

(2) 累積 GPA の計算式

(GPA制度運用内規)

累積 GPA = { (全在学期間中の評価“秀”の単位数合計×4) + (全在学期間中の評価“優”の単位数合計×3) + (全在学期間中の評価“良”の単位数合計×2) + (全在学期間中の評価“可”の単位数合計×1) } / 全在学期間中の総修得単位数

(運用方法)

第6条 GPAは、卒業判定等の際の活用など、学生に対する日々の学修支援のほか、大学の教育の質的向上に関わる局面において活用するものとする。

- 2 学期 GPA 及び累積 GPA は、成績通知表等に付記するものとする。
- 3 学費減免奨学生の2年次進級に際し、GPA等を根拠として奨学生資格を見直す場合がある。
- 4 当該年度の GPA が著しく引く場合、翌年度の履修単位数を制限する場合がある。
- 5 2期連続、国際コミュニケーションコースにおいては4Q連続して GPA が 1.2 を下回った場合、取得単位数および出席率等を勘案し、退学を勧告する場合がある。

(特例措置)

第6条の2 前条の3～5項に該当する者のうち、斟酌すべきやむを得ない事情がある者については、学修計画書の提出を以て判断する。

- 2 前項の斟酌すべきやむを得ない事情はつぎの各号のいずれかに該当する者とする。
 - (1) 疾病、災害、家計の急変等の本人の責めに帰さない事由がある者
 - (2) 社会的養護を必要とする者で、学修に対する意欲と態度が優れている者

(事務所管)

第7条 GPAの事務は、学生支援課が行う。

(改定)

第8条 この内規の改定は、教務委員会が行う。

附 則

この内規は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成28年6月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成29年6月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、令和2年4月1日から施行する。